

藤沢記者クラブ各位

観光客数が2,000万人を突破！

～令和6年の藤沢市年間観光客数及び観光消費額が過去最高を更新～

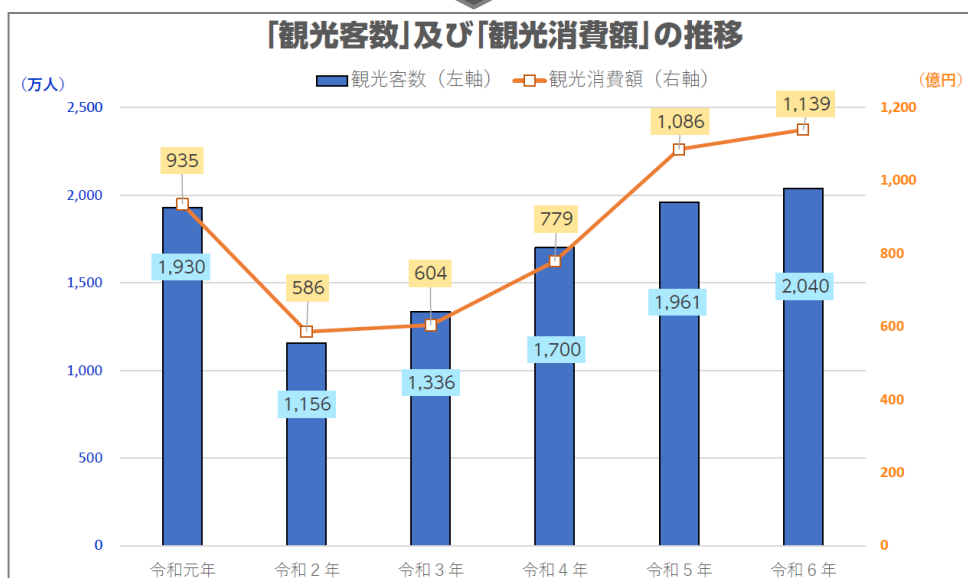
令和6年（1月～12月）の藤沢市の年間観光客数は、2,040万人となりました（昨年比80万人増）。

例年、多くの観光客が訪れる春季から夏季の天候が良好であったことや、海水浴客の増加、国全体の訪日外国人観光客数が増加傾向であったことなどの要因により、令和5年の1,960万人から4%増加し、統計以来、昨年に過去最高となった観光客数及び観光消費額をさらに上回りました。

〈年間観光客数及び消費額（いずれも推計）比較〉

区 分	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	対前年比	
観光客数（人）	19,299,823	11,558,369	13,357,273	17,002,224	19,608,486	20,401,274	792,788	104%
内 訳	1～3月	4,242,899	3,802,079	3,120,043	4,160,764	3,952,016	3,859,920	△ 92,096 98%
	4～6月	4,159,771	906,574	2,793,788	3,642,893	3,697,130	4,144,621	447,491 112%
	7～9月	7,043,879	3,659,064	3,014,752	4,346,096	6,666,892	7,101,916	435,024 107%
	10～12月	3,853,274	3,190,652	4,428,690	4,852,471	5,292,448	5,294,817	2,369 100%
消費額（円）※	93,495,608,909	58,604,166,693	60,351,959,354	77,924,410,125	108,576,627,095	113,852,575,491	5,275,948,396	105%

※消費額は、宿泊費、飲食費、レジャー費、お土産代を推計し、合計して算出したもの。



観光客数及び消費額のための増減要因は裏面をご覧ください。

＊この資料に関する問い合わせ先

藤沢市役所 経済部 観光課

担当： 齊藤、坂野、寺谷、涌井、田中

内線： 3421

直通： 0466(50)3531

<観光客数の主な増減要因（4半期ごとの推察）>

1月～3月	1、3月は前年と比べ、微増となったものの、2月は日照時間が少なく、休日の天候にも恵まれなかったことから、 <u>前年比2%減</u> となった。
4月～6月	本市の4・5・6月の各月ベースでは、いずれも前年を上回り、ゴールデンウィークをはじめ、片瀬・江の島エリアにおける観光バスの団体客の来訪などが目立つなど、好調であった。 また、6月の平均気温が平年に比べかなり高かったことや、国全体の4～6月の訪日外国人観光客数(前年比55.8%増)が好調であり、本市においてもインバウンドの取り込みができたものと推測されることから、 <u>前年比12%増</u> となった。
7月～9月	全体的に天候が良好で、本市の大きな観光誘客の要素の一つである海水浴客数が、前年比8.1%増と国内の海水浴客を取り込むことができたものと推察されるため、 <u>前年比7%増</u> となった。
10月～12月	10月は日照時間が少なく、前年比5%減少となったが、11月から開催されたイベント「湘南の宝石」がインターナショナルイルミネーションアワードのイルミネーションイベント部門優秀ストーリー賞1位の受賞報道で話題となったことや、好天に恵まれた影響から、11月・12月は観光客数が前年を上回り、結果、前年とほぼ同水準にとどまった（ <u>ほぼ増減なし</u> ）。

<観光消費額の主な増要因（推察）>

- ・昨今の物価上昇に伴う、飲食費、土産費、宿泊費等の価格が上昇したことで増加した。